

委託者さまの常況ヒヤリングシート

※重要な情報ですので、わかる範囲で委託者さまの最近の状態をお書きください。

1 委託者氏名 (男・女)
生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日 (歳)
住所 〒

2 本人の様子 (病歴, 現在の主な症状, 重症度, 現在の精神状態と関連する既往症, 合併症など)

※意識や意思能力はありますか → ある 微弱 ない
先天的な知的障害または精神障害 → ある 軽度 ない

3 **認知症があると思われる場合** (現在の症状について医師に診断を受けている場合)

診断名:

医師の所見:

診察場所: (年 月 日診察)

診察内容: 問診のみ 検査 (CT, MRI, SPECT)

※CT (コンピュータ断層撮影)、MRI (磁気共鳴画像診断) は脳の萎縮や腫瘍、脳梗塞の有無を検査。
SPECT (単一光子放射断層撮影) は脳の血流を見る検査で、機能が低下している部位が判断できます。

4 テスト (長谷川式、IQテスト、その他のテスト) 未実施 実施不可

実施したときの点数:

5 判断能力判定についてあなたの意見 [医師の診断を受けていない場合でも、あなたがどのようにみているかを下記のどれにチェックし、「意見欄」もご記入ください]。

自己の財産を管理・処分することができない。

[自分がする行為、例えば購入、売却、借金などの契約の利害得失が判断できず、金銭管理もまったくできず、日常的に必要な買い物も自分ではできないという感じ]

自己の財産を管理・処分するには、常に援助が必要である。

[日常的な買い物は単独でできるが、行為の利害得失を単独では十分に判断ができないため、重要な財産行為 (不動産の売却、自宅の増改築や自動車の売買、金銭の貸し借りなど) については1人でさせるのは無理、と感じる]

自己の財産を管理・処分するには、援助が必要な場合がある。

[重要な財産行為 (上記のとおり) をすることはできても、判断能力が不十分なために時に失敗して不利益を被る恐れがあるので、信頼できる誰かに付き添ってもらう方が安心と思える]

自己の財産を単独で管理・処分することができる。

◆あなたの意見: 上記4についてあなたが () 番目の項目に「✓」を入れた根拠。

本人の常況が改善する可能性: あると思う ないと思う

6 心身の現在の状態（該当する箇所にチェックマーク✓を入れてください。）

(1) 発語 できない できるが意味をなさない 問題なくできる

(2) 意思の疎通

できない 時折、ごく簡単な内容の会話のみ ほぼ会話が成り立つ

(3) 記憶力

自己の生年月日（回答できない 回答できる）

短期記憶（著しい障害がある おおむね記憶している）

(4) 見当識

日時（回答できない 回答できる） 場所（回答できない 回答できる）

(5) 計算力

計算はできない 足し引きが単純ならできる 問題なくできる

(6) 書く能力

書けない 名前は書ける 名前と住所を書ける 文章まで書ける

(7) 読む力

関心がない ほぼ読めない 新聞が読める 本を読み理解している

(8) **銀行でお金をおろせますか？**

おろせる 付き添えばおろせそう むずかしいと思う

(9) **お金へのこだわりがありますか？**

こだわりがあり通帳やカードを渡さない（すべて自分でやろうとする）

最近「おろしてきて」と頼まれる あまりこだわりはない

(10) **あなたの言うことを聞く気がありますか？**

聞いてくれる ことと次第で何ともいえない まったく聞いてくれない

(11) 現在状態の継続期間 3か月以上 3か月未満

(12) その他の特記事項（上記(1)～(12)の補足説明など）

7 本件家族信託について

本人は、家族信託についての説明を受け、自らの考えを述べることができますか？

できないと思う できると思う その他（ ）

以上のとおり観察しました。

年 月 日

氏名 :

(委託者との続柄) ㊞